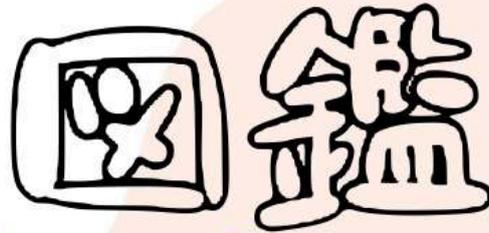


しごと-かわかたの



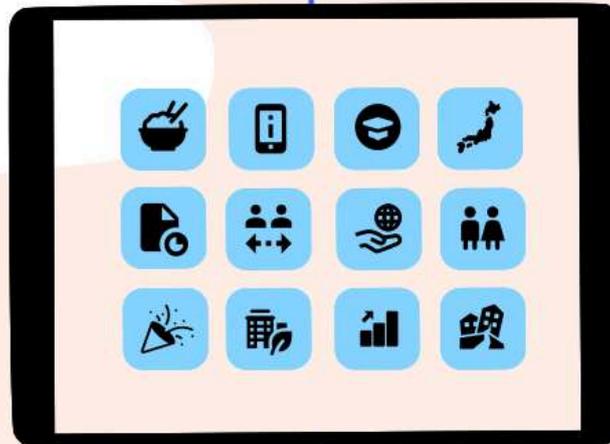
IDEATION



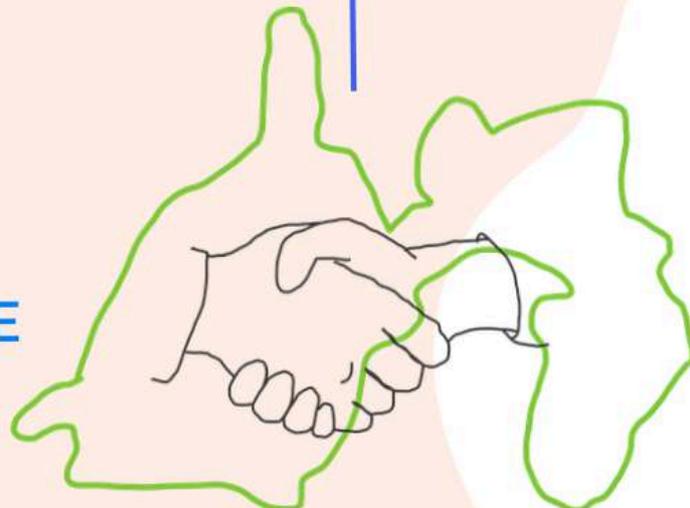
CREATION



LAUNCH



FUTURE



はじめに

しぞーかわかもの図鑑とは・・・？

しぞーかわかもの図鑑は、静岡県内で高校生や大学生はじめ、若者が主体となって活動する社会貢献団体についてまとめた冊子です。30団体に協力いただき、各団体の情報を掲載しています。一部の団体にはインタビューを実施し、活動の魅力などを伺いました。活動ジャンルごと、分けて掲載されているので、自分の興味のあるジャンルから団体を知ることができます。

こんなことが起こったらいいな

しぞーかわかもの図鑑をうまく活用して、大学のサークル選びの参考にしてもよし！自分の興味や活動と同じ分野の団体を知るもよし！可能性は無限大です。また、テーマが近い活動をする団体同士の交流や異分野の団体とのコラボレーションなど、この冊子から新たなつながりやコミュニティが生まれることを願っています。

サークル
選び

企業との
架け橋

異分野との
交流

他団体と
つながる

図鑑の読み方

- 
- 団体を一言で表すと？
 - 団体の中心となる活動分野 (目次の色と対応)
 - 団体に関連する活動分野
 - 活動内容
 - 一緒に活動したい人
 - 団体名、団体概要 (活動、所属)
 - 一緒に活動したい団体
 - 代表・メンバーからのメッセージ
 - 団体概要 (設立、連絡先)

もくじ

はじめに	2
もくじ	3

まちづくり

にこやかフェ（菊川市）	4
にこやかフェインタビュー	5
富士宮高校会議所（富士宮市）	6
浜松学生プロジェクト（浜松市）	7
わお（菊川市）	8
菊川まちづくり部（菊川市）	9

教育

学生助けたいんじゃー（静岡市）	10
YEC（若者エンパワメント委員会） （静岡市）	11
一般社団法人静岡学習支援 ネットワーク（静岡市）	12
静岡学習支援ネットワーク インタビュー	13
CSN浜松（浜松市）	14
地域コラボプロジェクト （静岡市）	15

農業

引佐耕作隊（浜松市）	16
静岡県立農林環境専門職大学 ボランティアサークル（磐田市）	17
静岡大学棚田研究会（静岡市）	18
静岡みかんクラブ（静岡市）	19
LA-VoC（浜松市）	20

防災

特定非営利活動法人US （静岡市）	21
災害支援サークルLuce（浜松市）	22
静岡の学生による能登半島復興支援 ネットワーク「こんぱす」（静岡市）	23

一般社団法人 静岡大学学生防災 ネットワーク（静岡市）	24
静岡大学学生防災ネットワーク インタビュー	25

国際関係

学生団体HANDs（浜松市）	26
Habit For Humanity Alicia （浜松市）	27

自然環境

サツテナヅル（静岡市）	28
環境サークル リアカー（静岡市）	29

福祉

静岡大学自閉症ボランティアサークル スマイル（静岡市）	30
株式会社なまけもの（静岡市）	31
なまけもの（静岡市）	32

食

ロスキュー！！（静岡市）	33
ロスキュー！！インタビュー	34

伝統文化

遠州古桜會（掛川市）	35
遠州古桜會インタビュー	36

ビジネス

わたしの商店街クエスト（焼津市）	37
わたしの商店街クエストインタビュー	38

芸術

出張お芝居！ぶちまり（浜松市）	39
静岡若者団体の活動実態調査	40
編集後記	42
編集メンバーより	43

学生と大人との暖かい広い繋がりを作ることです！ にこやかフェ

まちづくり

ビジネス

食

■ **主な活動場所** 菊川市役所東館「プラザきくる」 ■ **活動日時** 不定期（2ヶ月に1回平日放課後開催）

■ **メンバーの所属** 常葉大学附属菊川高等学校、小笠高校、掛川西高校、掛川東高校、掛川工業高校
静岡大学（取材当時）



どのような活動をしていますか？

にこやかフェは学生が中心となって地元のお菓子屋さんや珈琲屋さんから仕入れたお菓子と珈琲をお供に学生と大人が交流できる空間をつくっています。また、コミュニティカフェ活動とは別に、静岡探求コレクションや第8回菊川市高校生まちづくりプレゼンテーション大会、わかもののみちサミット2023@菊川前日企画などでプレゼンテーションによる紹介をさせて頂いております。

どんな人と活動したいですか？

様々な分野に特化、好きなものがあるという人。

どんな団体と連携したい？

居場所づくり・コミュニティカフェ・社会課題解決を目指している団体やただ単純に分野を問わず私達の活動に興味を持ってくれる団体や公的機関の方々などと繋がり、また、一般の人々へとコミュニティを繋げて行けたらと考えています。

代表・役員からのメッセージ

日常生活の中で、1日中一度も人と関わらない人はいないでしょう。人と関わりで得られるものは3つあります。1つ目は相補性のある人間関係、2つ目は新たな価値観を知る事、3つ目は精神の温もり。しかし、日常生活だけでは偏ってしまう。そんな時に、にこやかフェに来て下されば新たな何かを見つけられるかもしれません。

団体情報

設立：2023年

所属人数：約15人

✉ nikoyacafe@gmail.com

📷 [@nikoya_cafe](https://www.instagram.com/nikoya_cafe)

✕ —

🍷 —

にこやカフェ インタビュー

「ホッとする広い繋がり」 高校生と大人が関われる機会をつくる

インタビューの紹介



オーナー
有海（アリカイ）さん

にこやカフェスタッフの紹介



ボランティア参加者の皆さん
（インタビュー時は不在）

にこやカフェとは？

にこやカフェは高校生と大人が関われる場所をつくることを目的として、「ホッとする広い繋がり」をテーマに開催しているコミュニティカフェイベントです。場所は菊川市役所東館「プラザきくる」の2階にある多目的スペースで行ないます。企画や運営、メニューの仕入れなどはすべて高校生と大学生（取材当時）で行ないます。各テーブルにはボランティア参加者が一名配置され、テーブルリーダーとして各テーブルで会話を盛り上げます。

立ち上げのきっかけ

にこやカフェ開催のきっかけは、代表の有海さんが「きくがわ高校生まちづくりスクール」に参加したこと。高校生まちづくりスクール（通称：まちスク）は、高校生一人ひとりの興味関心から地域課題を発見し、解決に向けて取り組むワークショップ形式のプログラムです（NPO法人わかものまちなみ公式Webサイトより）。

有海さんは、まちスクに参加するものの、何をしようかと考えた際に自身の経験を振り返りました。中学時代に心の調子を崩してしまった有海さんは、学校に行きづらく家族とも話づらい状況があったそうです。そのような中で有海さんの心の支えとなっていたのは相談センターという新たな居場所。家でも学校でもないサードプレイスを見つけることのできた有海さんは、サードプレイスがどこにでもあって誰でも行ければいいと感じました。

また、心の疲労により生活に支障をきたす状態になる前にそのような居場所があればつらくなることも無い、その場所を作る一助になりたいと思ったそうです。

このような経験を振り返り、有海さんは三つの柱にたどり着きました。「相補性のある人間関係を作ること」「新しい価値観に出会うこと」「サードプレイスとして学校や家族以外に縦でも横でもない関係を作ること」これを実現するために、自身がカフェ好きであることからカフェをしようと考えたことからにこやカフェが生まれました。

第一回の開催エピソード

有海さんの思いのもと開催された第一回は、あふれるほどのお客さんとにぎやかで絶え間ない会話に満ちていました。その裏では有海さんのひたむきな努力がありました。

菊川市市民協働センターのスタッフの方やまちスクの講師の方に相談し、イベント開催場所の予約の取り方から企画の立て方などを教えてもらったそうです。また、集客や会話の勢い、赤字にならないかなどの不安があり、有海さんは当時の自分を「もはや一周回って元気だった」と語っています。

にこやカフェを行ってみて

有海さんにはこやカフェを行ったことで貴重な経験や知識、技術を習得することが出来たと話します。コーヒーの淹れ方やプレゼンの知識、ファシリテーターの能力など、大きなものを得たようです。また、スピノフ企画や別の団体の活動サポートなどを通して、にこやカフェを中心としたコミュニティを作ることもできたそうです。今では、科学、芸術、文化、まちづくりなど、有海さんの周りには様々な分野で活動する人がいます。

一方で、大変だったと感じることもあるそうで、テストや部活、受験などでメンバーが集まりづらく、放課後に開催するため時間も限られていました。その中で有海さんは、自分から始まったことだから、まずは自分から動くという意識で行動してそのような壁を乗り越えていきました。

にこやカフェを行ってみて

有海さんは、にこやカフェを5回行ったことで新しい繋がりやコミュニティができていいることを実感しているそうです。第一回からの試行錯誤を経て変化してきた一方で、ずっと変わらず残っているものとして、カフェを通して話せる場を作っているという点があります。有海さんは、そこでできた繋がりやコミュニティを失わないためにも、これからもにこやカフェを続けていきたいと話しました。



にこやカフェの様子

高校生の発想で、富士宮を元気にする活動を行っています 富士宮高校会議所

まちづくり

主な活動場所 西町レトロ館

活動日時 原則 毎月第3土曜日

メンバーの所属 富士宮北高校、富士宮西高校、富士宮東高校、富岳館高校、星陵高校
富士特別支援学校 富士宮分校、清水国際高校、富士宮第1中学校、富士宮第2中学校



どのような活動をしていますか？

高校生等の視点で、主体的に、地域貢献的なボランティア活動を行い、富士宮を元気にする活動を行っています。

どんな人と活動したいですか？

老若男女、外国籍であるなし、しょうがいのあるなしに関わらず持続可能な社会創りを行える方々と活動したいです。

どんな団体と連携したい？

地域を元気にするイベント創出、地域を元気にする商品開発に向けて、企業等とコラボしたいです。

代表・役員からのメッセージ

富士宮を元気にする高校生等の集まりに、助言サポート、コラボよろしくお願ひします。

団体情報

設立：2016年

所属人数：28人

✉ sadanori1615@icloud.com

📷 [@fhsc_20160208](https://www.instagram.com/fhsc_20160208)

✕ [@FHSC_20160208](https://www.facebook.com/profile.php?id=100064354405493)

📌 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100064354405493>

社会人と学生が就職活動とは関係なしにラフな形でつながることができます！ 浜松学生プロジェクト

主な活動場所 Teams, The Garage

活動日時 毎週水曜日21:00～

メンバーの所属 静岡文化芸術大学、愛知大学、聖隷クリストファー大学、浜松北高校



まちづくり

どのような活動をしていますか？

地域活性化に興味がある学生たちが集まり、毎週水曜日の21時から定例会議を行い情報共有や話し合いをしています。また、2ヶ月に1回「社会人交流会」を開催し、社会人の方々と意見交換などを行っています。さらに、企業の方とのコラボ活動で、季節ごとにゴミ拾いをしたりしています。

どんな人と活動したいですか？

浜松の地域活性化や社会人の方との交流に興味がある大学生 浜松の地域活性化を行う社会人の方や学生と何かプロジェクトをしたいと考えている企業・社会人の方々

どんな団体と連携したい？

浜松を活性化するためにイベントを開催している団体の方と連携して、様々なイベントに参加してみたいです！

代表・役員からのメッセージ

私たちと一緒に地域活性化やプロジェクトなどを知りたいと考えている企業や社会人の方、募集中です！また、学生メンバーも絶賛募集中なので、お気軽にInstagramまでお声がけください😊

団体情報

設立：2025年

所属人数：約10人

✉ hamamatsu.gakusei@gmail.com

📷 @hamamatsu_gakusei

✂ @hamagaku_2023

📘 <https://www.facebook.com/hamagaku2023/>

みんなが主役！！みんなのチカラでみんなを支えます わお

主な活動場所 菊川市内の地区センター

活動日時 不定期（主に小学校の長期休み期間中）

メンバーの所属 成蹊大学ほか



どのような活動をしていますか？

子どもたちの居場所を作ると同時に、シニアの方にも活躍の場を提供し、親の子育て負担の軽減、地域の活性化にも取り組みます。地域の地区センターで、高校生・大学生やシニアの方が、子どもたちの宿題をサポートしたり、一緒に遊んだりしています。また、限られた予算の中で、なるべく子どもたちの親の負担も減らすために、子どもたち自身が、昼食を作るようにしています。子どもたちが、普段やらないことを経験でき、他学年、他世代と関わる機会の創出に取り組んでいます。

どんな人と活動したいですか？

地域のシニアの方や、他団体の方

どんな団体と連携したい？

子ども食堂を行う団体と連携し、居場所をさらに快適なものにしたい。また、耕作放棄地の問題などに取り組む団体や農業振興に取り組む団体と協力して、子どもたちに食育指導を行いながら、土に触れる経験をさせたい。

代表・役員からのメッセージ

こども・若者の社会参画が声高に叫ばれています。私たちは、若者が踏み出した一歩によって周りの大人が、社会が一步踏み出すきっかけになればと思っています。そのために、こども・若者だけでなく、幅広い世代との交流や活動が必要です。「わお」は、日本の宝である日本の子どもたち、地域の宝である地域の子もたち、そして彼らを支える大人、みんなのサポートをしていけるように頑張ります！

団体情報

設立：2024年

所属人数：約10人



@s_s_wao

@WAO_wao39



若者たちが協力し、楽しみながら菊川を活性化していきます！ 菊川まちづくり部

主な活動場所 菊川市市民協働センター

活動日時 月1回

メンバーの所属 小笠高校、常葉高校



まちづくり

どのような活動をしていますか？

主な活動内容は、若者たちが集まり菊川市をもっと活性化させていくために、どんなことをしたらいいかや自分達がやってみたいイベントなどを考えて実際に行っています。また、それを行いながら、地域の人に意見を聞いたり、アンケートを取ったりし、その結果と実際に行ったことを含めて、市の関係者に報告をしています。

どんな人と活動したいですか？

菊川をもっとよくしていきたい、菊川が好きという思いがとても強い人

どんな団体と連携したい？

地域の自治体、地域若者支援課

代表・役員からのメッセージ

菊川の活性化などの参考にしたいので、もしアンケートやイベントを行った際には、たくさんの意見をお願いします！

団体情報

設立：2023年

所属人数：約10人



@kikumachi_club



学生たちが望まぬ退学をせず、学び続けられるような大学を目指します 静岡県立大学 学生助けたいんじゃー

主な活動場所 zoom 静岡県立大学

活動日時 不定期

メンバーの所属 静岡県立大学

教育

農業

食



どのような活動をしていますか？

コロナをきっかけに、たべものカフェという食料の配布と金銭面、精神面、生活状況に関するインタビューを行う中で、県立大学でも困窮学生が一定数いることがわかってきました。困っている学生の多くはコロナが原因なのではないことも明らかとなってきました。その約1年後、たべものカフェで届いた学生の声をもとに、「学生助けたいんじゃー」が発足しました。私たちは、学生たちが望まぬ退学をせず、学び続けられるような、学生に寄り添う支援体制を確立することを目標に、学生の貧困状況を学校内外に発信する活動しています。

どんな人と活動したいですか？

大学関係者、福祉関係者、メディア関係者

どんな団体と連携したい？

フードバンク、食料配布支援行う団体

代表・役員からのメッセージ

奨学金には条件があり、体や心が疲れてしまったとき 成績を落としてしまったとき 立ち行かなくなることもあります。金銭不足から、アルバイトをたくさんし、睡眠不足で授業に行けず、勉強できない、成績を落とす、奨学金や学費免除が減額、支給されなくなることもあります。生活が苦しくなっている中、苦しいからこそ、大学に入る学生がいます。学生の貧困についていっしょに考えてみませんか。

団体情報

設立：2021年

所属人数：約10人

✉ gakusei.tasuketainja@gmail.com

📷 @tasuketainja

✕ @tasuketainja

📺 -

若者が社会のチカラになっている状態を実現します！ YEC（若者エンパワメント委員会）

■ **主な活動場所** 静岡県立大学
県立図書館（会議室）

■ **活動日時** 毎週火曜日16:30～18:00

■ **メンバーの所属** 静岡県立大学



教育

■ どのような活動をしていますか？

YEC（若者エンパワメント委員会）は、静岡県立大学の大学生メンバーで構成される、若者の社会参画を活性化し、若者が社会の力となっている状態を目指す静岡の学生団体です。毎年中高生が「やりたいこと」をメンバーと一緒に実行する「もうひとつの放課後探しプロジェクト」を実施しています。「もうひとつの放課後探しプロジェクト」は、今年（2024年）で15期目を迎えます。これまで、ファッションショー・保護犬カフェ・スポーツ企画など様々な企画が生まれました。この活動は、中高生自身が自分で社会を変えることができると感じてもらい、若者と社会をより身近にすることを目的としています。

■ どんな人と活動したいですか？

中高生の支援に関心がある大学生

■ どんな団体と連携したい？

大学の他のサークルや企業など、中高生が普段関わる機会のないような団体

■ 代表・役員からのメッセージ

YECでは、日々「もうひとつの放課後探しプロジェクト」に向けたミーティングを行ったり、視察に行ったり、報告会を開催したりしています。学年、大学、学部問わず、様々な学生と一緒に活動ができる場となっています。中高生、そして自分自身の成長を実感できる機会として、ぜひ活動に参加してみませんか？そして、一緒に若者がもつチカラを社会に発信してみませんか？

団体情報

設立：2009年

所属人数：約8人

✉ yec.information@gmail.com

📷 @yec.3110

✂ @youth_empower

📌 <https://www.facebook.com/yec.shizuoka>

子どもたち一人ひとりに寄り添った学習支援をします！ 一般社団法人 静岡学習支援ネットワーク

主な活動場所 長田生涯学習センター 有度生涯学習交流館
大里生涯学習センター 葵生涯学習センター
(アイセル21)

活動日時 毎週月曜日:運営ミーティング
毎週火水木金曜日:学習支援の教室

メンバーの所属 静岡県立大学、静岡大学、常葉大学

教育



どのような活動をしていますか？

静岡学習支援ネットワークは、勉強したいけど経済的な理由で塾へ通えない、家庭環境が複雑で勉強できる環境がない、不登校やその他困難を抱えるといった「勉強したくてもできない子どもたち」への学習支援を行う公認サークルです。週に4回、静岡市内の各地域で無償学習支援教室を開催し、小中高生に勉強を教えたり、お喋りしたり、子どもの居場所になれるよう活動しています。静岡県立大学、静岡大学、常葉大学の学生が所属しており、大学生間の交流もにぎやかです！

どんな人と活動したいですか？

子どもと関わりたい人
貧困問題に関心がある人

どんな団体と連携したい？

学習支援をしている団体と学習支援を広める活動

代表・役員からのメッセージ

こんにちは！現在静岡学習支援ネットワークの代表をしております静岡大学2年榊原裕太と申します。静岡学習支援ネットワークは勉強したくてもできない子どもたち一人ひとりに寄り添った学習支援を掲げ日々活動しております。みなさんにはぜひ学習支援がどんな活動をしているかご覧になっていただきたいです

団体情報

設立：2012年

所属人数：約110人

✉ ssskouhou2@gmail.com

📷 @shizuoka.gakusyuuushien

✂ @SSS_Network

📺 -

静岡学習支援ネットワーク(SSS)インタビュー

夢を追いかける子どもたちへ
学びの楽しさを届ける👉



インタビューの紹介

静岡学習支援ネットワーク代表

榎原さん 静岡大学 人文社会科学部2年（取材時）

団体参加前から子どもと関わるのが好きで、大学卒業後の進路として教員を目指している榎原さん

団体に参加する大学生同士の繋がりを大事にしながらこれからもSSSの活動を拡大していきたいと語ります

子どもへの思いが静岡市との取り組みに

2012年2月に大学生たちの「勉強したくてもできない」という苦しい状況に直面している子どもたちの力になりたいという熱い思いから誕生した本団体は、2015年に一般社団法人化されて以降、現在に至るまで一般社団法人静岡学習支援ネットワーク(SSS)として「静岡市生活困窮世帯、ひとり親家庭等の子どもへの学習支援業務」を静岡市より受託し、あるミッションの下、大学生のみで教室運営やイベントを企画しています。

学習支援だけでなく社会を動かす

「勉強したくてもできない子どもたちの一番近くで一人ひとりに寄り添った学習支援を！」
「どんな子どもたちにも夢にチャレンジできる環境が保障された社会づくりに貢献を！」
の2点をミッションとして掲げ、静岡市内で小中高生を対象に週4回の教室開催や市民向け講座として新たに学習支援を行いたい方々への学習会を開いています。
(各教室の詳細および生徒募集状況についてはSSSのHPを参照ください。)

貧困とはなにか--大学生が子どもたちと向き合う姿勢

「勉強時間が確保できない等、異なるバックグラウンドを持つ子どもたち一人ひとりに向き合えたことが自身の成長にもつながった。」

「お金がなくて夢を諦めてほしくない。奨学金等の援助制度は存在するが、それを得るためにも学力が必要になるからSSSの一員としてサポートしたい。」といった学生の声があります。貧困と聞いて多くの人が「お金」の問題を思い浮かべるかもしれませんが、SSSでは経済的困窮だけでなく、「時間」や「精神」の貧困などさまざまな側面からの支援を目指し寄り添うことで、子どもたちにとって安心できる居場所が生まれているのかもしれない。

団体の継続と未来へのビジョン

SSSでは日々の教室のほかにも、定期勉強会や全体研修を行っています。勉強会では「いじめなど思春期の子どもに起こりうる困難について生じる過程や被害の実態」や「子どもの貧困」について学び理解し、貧困世帯の子どもたちへの対応の見直しを行います。

全体研修ではこの団体が掲げるミッションに込められた思いを確認し、改めてSSSができることについての意見交換を行っています。こういった活動を通じて、団体が持つべき知識を共有することで、団体がより良い方向へと進み、継続的に活動できる要因となっていると代表は語ります。また今後の活動としてSSSの手が届かない地域にも学習支援を広げるためにも市民向け講座の充実を図りたいと語ります。



静岡学習支援ネットワーク

Shizuoka-Study-Support

楽しみながら子どもが成長できる居場所をつくりあげたいです！

CSN浜松

教育

主な活動場所

- ①高丘ことぶき会館
- ②クリエート浜松
- ③北部協働センター

活動日時

毎週水曜 第1土曜日 夏休み 冬休み1回ずつ

メンバーの所属

静岡文化芸術大学、静岡大学（浜松キャンパス）

子育て

食



どのような活動をしていますか？

メイン活動では、①アンドリーニャ教室で宿題や勉強を教えたり、②子ども講座&③子ども食堂でレクリエーションを実施したりしています。主に子どもに関するボランティア活動になります。また、静岡文化芸術大学の学祭「碧風祭」では、毎年恒例のリアルウォーリーを探せとミニゲームの遊び場を企画しています！ 活動には好きなとき、好きなものに参加できることが私たちの特徴です。メインの活動以外にも、ホンダ様が主催する「ダンボールクラフト教室」でのボランティアなど、コロナ禍で時が止まっていた活動を再始動させている最中になります。

どんな人と活動したいですか？

地域や子どもとの繋がりを大事にしてくれる大学生！子どもたちだけでなく、地域の方や大学生など様々な人との関わりができます◎

どんな団体と連携したい？

子どもたちを対象に活動の実施をされる団体様（通常活動というよりも、特別コラボという形の方が連携しやすいです！）

代表・役員からのメッセージ

この団体がありがたくも20年以上続く中で、活動の形は時代と共に変化していると思います。それでも「College Student of Network」、「Child Story for Next」という名前のとおり、大学生同士のつながりや子どもの未来を築くという気持ちは変わらずに活動していきたいです。

団体情報

設立：2001年

所属人数：約70人



@csn_hamamatsu



@csnhamamatsu



—

学生と草薙の架け橋になります！！ 地域コラボプロジェクト

【主な活動場所】 コラボレーションスペースTakt
静岡県立大学 講義室

【活動日時】 毎週水曜日18:15～19:30
(変更の可能性あり)

【メンバーの所属】 静岡県立大学、常葉大学



教育

【どのような活動をしていますか？】

私たちは学生と草薙地域の架け橋になりたいという思いで活動しています。例年の活動内容としては、「草薙ツアーズ」という新入生向けのまち歩きイベントを開催したり、草薙地域で行われるお祭りやマルシェに出店したりしています。草薙マルシェでは、地コラのブースで他の学生団体が出店することもあります。他団体に草薙で出店してもらうことで、地コラだけでなく、より多くの学生と草薙が繋がるきっかけづくりをしています。これらに加えて、昨年は「くさなぎクリーンフェス」という地域の清掃イベントを主催したり、「草薙図鑑」という飲食店紹介プロジェクトを始めたりと、新しいことにも挑戦しています！

【どんな人と活動したいですか？】

まちづくりに興味のある人 地域の人々と関わりたい人 イベントを企画したい人 楽しいことが好きな人

【どんな団体と連携したい？】

- ・地域の飲食店を取材して草薙図鑑を作りたい
(現在企画進行中)
- ・地域のお店とコラボして一日店長などをやってみたい
- ・地コラ主催のイベントに、音楽系や食品系など色々な学生団体を呼びたい

【代表・役員からのメッセージ】

学生と草薙地域の方々が、お互いに価値を提供し合える環境をつくっていきたくと思っています！ 学生の皆さんには、もっと草薙のまちを歩いてほしい！ 草薙のお店に足を運んでもらいたい！ 草薙のイベントを知ってほしいです！ そして学生と地域の人々の繋がりがもっともっと強くなっていったら嬉しいです！

団体情報

設立：2011年

所属人数：約35人

✉ kusapro@gmail.com

📷 @chi_co_lla

✂ @skdkusanagipro

🌐 <https://www.facebook.com/kusapro>

学生のアイデアで休耕田の再生 引佐耕作隊

主な活動場所 浜松市浜名区引佐町
久留女木の棚田

活動日時 毎週1回（土日のいずれか）

メンバーの所属 静岡文化芸術大学

農業

まちづくり

自然環境

食



どのような活動をしていますか？

3月から10月末にかけて、原則週に一回、棚田での農作業を行う。具体的には、わらの細断や田起こし、代掻き、そして施肥を行ったのち、6月に田植え、10月末には稲刈りを実施する。なお、耕作にあたっては、適宜地元耕作者の方の指導を受ける。収穫したお米はパッケージに詰め、例年1月に販売する。販売方法は大学生協の購買と通信販売の主に2つである。耕作以外には、地域の草刈りや祭礼等に参加し、地元の人と関係性を構築するよう心掛けている。今年度は納涼祭や収穫祭に参加した。

どんな人と活動したいですか？

米作りに興味のある方 棚田における耕作放棄地の問題に関心のある方 中山間地域に関心のある方

どんな団体と連携したい？

似たような活動を行っている団体

代表・役員からのメッセージ

引佐耕作隊では米作りから販売までを学生主体で行っています。活動では大変なこともあります。地域の方のサポートで活動を続けることができます。現在では米作りを通じて築かれた地域住民との関係性を活かし、地域の祭礼や行事に参加し、棚田以外の面からも地域に関わるようになりました。これからも引佐耕作隊をどうぞよろしくお願いいたします。

団体情報

設立：2016年

所属人数：約17人

✉ tanadanomegumi@yahoo.co.jp

📷 @inasakousakutai

✂ @inasakoisakutai

🌐 <https://www.facebook.com/InasaKosakutai/>

地域の人や学生と互いに学びを深め地域を盛り上げます！ 静岡県立農林環境専門職大学 ボランティアサークル

主な活動場所 静岡県立農林環境専門職大学
県内の農家さん

活動日時 毎月 第3土曜日午前 第1木曜日夕方

メンバーの所属 静岡県立農林環境専門職大学



農業

自然環境

どのような活動をしていますか？

私たちは、特に農業を通じて地域の方々と交流し地域社会に貢献すること、そしてその中で経験や学びを得ることを目標に、援農ボランティアを中心に活動しております。月に1回以上定期的に固定の農家さん3団体を訪問し、時期ごとの農作物の管理のお手伝いや、時にはイベント出店のお手伝いなどをさせていただきます。また、毎月第4日曜日に浜松駅周辺で開催されているゴミ拾い活動「夢拾い」にも、緩やかに参加させていただいています。

今年度の本学の大学祭「豊稔祭」では、ボランティア先の農作物や商品を仕入れて販売しました。農作物に関しては、自分たちで加工品を考案し、加工したものを販売することにも挑戦しました！

どんな人と活動したいですか？

地域貢献に興味がある学生
援農ボランティアとゴミ拾い以外の活動にも
関心がある学生

どんな団体と連携したい？

食品系サークルと農産物の加工方法の検討
繁忙期に人手が欲しい農家さん
市内各地のボランティア活動団体

代表・役員からのメッセージ

ボランティアを通して、農業から地域を盛り上げようと奮闘しておられる農家さんの思いや活動を知り、微力ながらそれにお力添えさせていただいていることは、とても素晴らしい経験だと感じています。私たちの活動を知っていただくことで、Instagramで紹介している私たちのボランティア先の農家さんや団体さんについても読者の皆さんに知っていただけたら嬉しく思います。これから、他の分野でのボランティアも行って活動の幅を広げていけたらと思います。今後の活動についても、興味を持っていただけたら幸いです。

団体情報

設立：2020年

所属人数：24人



@squa_volunteer



若い力で棚田保全活動の支援をします！

静岡大学棚田研究会

主な活動場所 菊川市上倉沢
せんがまちの棚田

活動日時 毎月土曜日 1~2回ほど

メンバーの所属 静岡大学

農業

まちづくり

伝統文化

食



どのような活動をしていますか？

- 静岡県菊川市上倉沢の美しい棚田の景観を守ることを目的として「NPO法人せんがまち棚田倶楽部」の方々と連携しながら棚田保全活動の支援
- 棚田、静大祭での「棚田市場」を通して、せんがまちの棚田の広報活動と、自分たちで育てた作物などの販売

どんな人と活動したいですか？

棚田の保全活動に興味ある方
地域に貢献したい方
農業に興味がある方

どんな団体と連携したい？

教育機関と連携し、棚田の意義や保全活動の重要性を若い世代に伝えたい

代表・役員からのメッセージ

私たち棚田研究会は、棚田という日本の美しい原風景を守り続けるために活動しています。しかし今少子高齢化や都市化などにより、棚田に存続の危機が迫ってきています。この風景を次世代に残すためには皆さんの協力が必要です。小さな1歩でもかまいません。棚田の保全活動を支えるには、参加、応援、広めるなど沢山あります。一緒にこのかけがえのない風景を守り、未来へつないでいきましょう！

団体情報

設立：2009年

所属人数：約60人



@shizudai.tanaken

@_su_tanaken



静岡みかんの魅力発信&消費量UP!!

静大みかんクラブ

主な活動場所 静岡大学静岡キャンパス

活動日時 毎週木曜日14:30~16:30

メンバーの所属 静岡大学



農業

教育

食

どのような活動をしていますか？

- ・イベント参加（産業フェア等）
- ・ピールアート体験
- ・援農ボランティア
- ・静大所有の農場藤枝フィールドのお手伝い
- ・ハート型のみかんづくり
- ・各種果物狩り
- ・みかんについての郊外調査

どんな人と活動したいですか？

静岡みかんを広めたい方
みかんや果物が好きな方
果物を通じて子供達と関わりたい方
みかん農家の方
果物農家の方 静大生と果物を育てたい方
静大生に農業を手伝って欲しい方

どんな団体と連携したい？

飲食店と連携して商品開発をしたい。 農家の方と連携してみかん消費量を増やしたい。 農家さんと連携して、静大ブランドのみかんを作っていきたい。 農家や食品販売系の方々と協力して果物やみかんを有効活用するイベントを開催したい。

代表・役員からのメッセージ

静岡大学公認サークルの静大みかんクラブです！様々な活動に参加したり企画することで、たくさんの方に静岡みかんを知っていただき、「静岡みかんの魅力発信&消費量UP!!」を目指して活動を行っています。各種SNSで活動の様子やイベントの告知等をしているためぜひ見てみてください！ご連絡等あればメールや各種SNSのDMにてお願いいたします！

団体情報

設立：2017年

所属人数：約35人

✉ shizudai.mikan.club@gmail.com

📷 @shizudai_mikan

✕ @shizudai_mikan

📍 -

若者の力で中山間地域に光を灯します！

LA-VoC

主な活動場所 春野町 静岡文化芸術大学

活動日時 毎月第2土曜日の活動
毎週水曜日（ミーティング）

メンバーの所属 静岡文化芸術大学

農業

まじくこ



どのような活動をしていますか？

私たちは、耕作放棄地が増えているという課題を対処するためにその土地を畑にして、春野耕作隊の方々と一緒に農業を行っています。夏にはとうもろこしの収穫・販売を行い、地域の方々に還元しています。他にも別の野菜を育てたり、畑の手入れを行ったりするなど、1年を通して活動しています。別の中山間地域くんまでは、田植えや稲刈りのお手伝い、大寒謝祭へスタッフとして参加し関わりを持たせていただいております。大学でも小さな畑を作り、今年は枝豆、オクラ、ヘチマ、さつまいもなどの野菜を育てました。来年度はまた新たな活動を行っていく予定です。

どんな人と活動したいですか？

農業や中山間地域に関心を持つ学生

どんな団体と連携したい？

別の地で似たようなことをやっている学生と意見交換をしてみたいです。

代表・役員からのメッセージ

私たちは農業が好き！だけでなく、自然が好き、体を動かしたい、新しいことに挑戦したいなど様々な思いを持つ学生が集まって活動しています。私は活動を通して農業の魅力も大変さも実感し、スーパーで売っている野菜に感謝するようになりました。やってみて初めてわかることは、この世の中たくさんあると思います。だからこそやりたいと思ったことを1度くらい全力でやってみるのもいいかもしれません！

団体情報

設立：2014年

所属人数：約30人



—



@suac_lavoc



@lavoc_suac



—

私たちが、暮らしやすい明日を、地球規模で考える 特定非営利活動法人US

【主な活動場所】 オンライン
静岡市 駿河総合高校

【活動日時】 概ね毎週木曜 金曜の夜（オンライン）

【メンバーの所属】 静岡大学 静岡県立大学 大正大学 静岡県立駿河総合高等学校



防災

福祉

まちづくり

どのような活動をしていますか？

静岡市内の高校生がきっかけとなり立ち上がった、「SDGs」や「防災」を切り口にイベント出展や主催をし、地域づくりに取り組む団体です！地域のイベントでは、お野菜スタンプを用いたエコバッグ作り体験や災害時に役立つ新聞スリッパ作り体験を出展しています。また、イベントへの参加だけでなく、団体・企業にご協力をいただきイベントを主催しています。今後は、メンバーのそれぞれ興味・関心のある分野から、参加者にワクワクする体験をしてもらうようなイベントを企画していきます。

どんな人と活動したいですか？

防災・福祉・環境などに興味関心がある学生
イベント制作に関わりたい学生

どんな団体と連携したい？

中・高生と企業とともに、社会課題を解決する
商品開発

代表・役員からのメッセージ

私たち団体は少人数ながら、メンバーそれぞれが興味関心のある視点からイベント・体験の制作をし、楽しみながら社会課題の解決を促したいと考えています。そのために、まずはメンバー自身が楽しむことを目標としています。本誌やSNSなどを見て、少しでも私たちに興味を持っていただけたらご連絡をいただければ幸いです。

団体情報

設立：2022年

所属人数：約20人

✉ info@newuniversalact.com

📷 @us.earth6

✂ @us_earth6

🍷 -

自分のために、周りのために災害・救急医療を学んでいます！ 災害支援サークルLuce

主な活動場所 浜松医科大学 市内の学校
協働センター

活動日時 不定期

メンバーの所属 浜松医科大学

防災



どのような活動をしていますか？

学内では勉強会、大学病院の防災訓練に参加しています。静岡県西部地域の病院災害訓練への支援や、「浜松市と大学の連携事業」に参画した心肺蘇生法の市民教育講座、浜松北地域まちづくり協議会との共催による災害時避難訓練所運営など、多数の社会貢献活動に継続的かつ積極的に関わっています。また市民団体や浜松市内小学校からの要望に応じ、出張でのHUG体験、救命講習実施など行っています。

どんな人と活動したいですか？

地域の方々、災害・救急医療に興味のある方

どんな団体と連携したい？

地域でもっと講座を開きたいです

代表・役員からのメッセージ

OBOGの方、地域の方々など多くの方に支えられ、日々活動できています。さらに地域社会に貢献できるLuceを目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。 よろしくお願いたします。

団体情報

設立：2011年

所属人数：約50人

✉ luce.hamamed.0311@gmail.com

📷 @luce_husm_24

✂ @luce_HUSM

📺 —

静岡の学生で能登(N)と静岡(S)の架け橋をつくる 静岡の学生による能登半島復興支援ネットワーク「こんぱす」

主な活動場所 オンライン 静岡市周辺

活動日時 平日週1回チームミーティング
月2回全体ミーティング
2ヶ月に1回程度イベント出展

メンバーの所属 静岡大学、常葉大学、ルーテル学院大学大学院、NPO法人ESUNE



防災

どのような活動をしていますか？

私たちは能登半島由来の商品を販売するマルシェやイベントに参加し、売上を復興支援に活用しています。また定期的集まる機会を設けて、地震について自分たちにできることを考えたり、復興現場の難しさを学ぶ機会を提供しています。さらに他の災害団体と連携して募金活動なども行っています。普段はオンラインで定例会議を実施し、活動内容の発信なども行っています。実際に被災地を訪れたメンバーも多くいます。

どんな人と活動したいですか？

支援したいという思いはあるけれど何からしたら良いかわからないという学生
資金面で協力してくれる大人

どんな団体と連携したい？

自分たちの活動を広報してくれる団体 私たちと同じ目的を持ったボランティア団体

代表・役員からのメッセージ

被災地の支援には選択肢がいろいろあります。小さな点でも集まれば大きな力になります！支援の継続は自分自身の防災意識を保つことにもつながるので、災害を自分ごとと捉えて考えて欲しいです。能登のことを忘れずに、少しでも関心を持ち続けてもらえたら嬉しいです。そして、こんぱすの想いに共感した方はぜひ一緒に活動しましょう！

団体情報

設立：2024年

所属人数：約10人

✉ SKN.Sizuoka.Konpas.Noto@gmail.com

📷 @skn.shizuoka_konpasu_noto

✕ —

🍷 —

防災 × ○○ 私たちにできること。

一般社団法人 静岡大学学生防災ネットワーク

防災

■ **主な活動場所** 静岡大学学生会館1階
防災センターセミナー室

■ **活動日時** 毎週木曜日の午後
土日は不定期にイベント等

■ **メンバーの所属** 静岡大学

まちづくり



どのような活動をしていますか？

学生防災ネットワークは静岡大学で初めての防災に特化したボランティア団体です。静岡で大規模災害が発生した時に頼って貰える団体であるために、静岡市内でイベント等に参加をして防災の啓発活動をしたり、当団体の知名度向上のための活動をしたりしています。もちろん、私たち自身が防災に関して知見を高めるための勉強会なども行っています。災害ボランティアの活動に参画するなど現場での活動も行っています。私たちにできることには限界がありますが、私たちにできることは何かを日々追い求めて活動をしています。

どんな人と活動したいですか？

防災に関心のある学生とともに、行政や企業、NPO、地域住民に至る多くのステークホルダーも巻き込んで活動したいです。

どんな団体と連携したい？

他大学の防災を専門に扱う学生団体とも共同して活動していきたいです。

代表・役員からのメッセージ

防災と聞くと難しく感じる人もいるかもしれませんが。私たちは楽しく防災を学び・備えることができるような啓発や活動をしたいと思っています。防災を考えることは同時に地域のコミュニティの繋がりの重要性を考えることにもなります。地域やコミュニティもキーワードに挙がります。誰一人取り残さないようにするために何ができるのか、日々追いかけてみたいと思います。

団体情報

設立：2018年

所属人数：約20人

✉ gakuseibousai.shizuoka@gmail.com

📷 [@gakuseibousais](https://www.instagram.com/gakuseibousais)

✕ [@gakuseibousaiS](https://twitter.com/gakuseibousaiS)

🍷 -

静岡大学学生防災ネットワーク インタビュー

有事の時に信頼してもらえる団体へ 防災 × ○○で防災を身近に



インタビューの紹介

(左) 塚本由喜美さん 静岡大学人文社会科学部 言語文化学科2年生 (取材時)
(右) 西ヶ谷直樹さん 静岡大学グローバル共創科学部2年生 (取材時)

- ・元々ボランティアに興味があったという西ヶ谷さん。活動の中で、魅力的な大人との出会いなどから精力的に活動をするようになる。
- ・静岡市出身という塚本さん。将来は防災の観点から、静岡市に貢献することを目指している。

設立にいたった九州北部豪雨

設立は2018年。きっかけは、2017年の九州北部豪雨です。当時の学生が、災害ボランティアとして現地に向かいますが、学生個人では被災地からの信用を得ることは難しいものでした。当時、静岡大学には防災団体が存在しなかったことから、設立に至ります。「クイズなどで、面白く学べるのが、防災の良いところ」こう、西ヶ谷さんが話すように、静岡市内のイベント等で防災クイズや子供向けゲームを企画するなど、楽しく防災が学べるような仕掛け作りをしています。

無力さを感じた能登半島地震

西ヶ谷さんは、昨年1月の能登半島地震から、2か月が経過した3月に、災害ボランティアへ訪れます。「専門的な知識があれば良いが、何の専門性もない学生が、現地に来て足手まといではないかと感じました」まだ、被害が色濃く残る3月でしたが、それでも西ヶ谷さんは、何も出来ないという無力感を感じていました。西ヶ谷さんに続いて、数名の団体メンバーもGW、夏休みを利用して能登を訪れます。この災害ボランティアを通じて、能登への親近感はより高まりました。このことが、西ヶ谷さんたちをさらに突き動かすようになります。



みんな能登半島に心を痛めていた

1月に続いて、9月には能登半島に大雨が襲います。被災地に追い打ちをかけるような、甚大な災害。これに西ヶ谷さんたちはすぐに行動に移します。約1週間後、学生防災ネットワークは静岡駅の北口で募金活動を始めます。「1度、能登に行ったからこそ、すぐに募金という行動に移すことができました」3日間、静岡駅前の街頭に立ち、46万円もの金額を集めました。団体メンバーは静岡市民の能登への思いが印象に残ったといいます。「募金箱に1万円を入れてくれる方や、メッセージ付きの物をくださる方もいました」学生防災ネットワークが、こうした静岡市民のくすぶる気持ちを解消するきっかけになったことが特に印象的だったと語ります。



有事の時信頼してもらえる団体へ

「有事の時に、信頼してもらえる団体になりたい」西ヶ谷さんはこう強調します。学生防災ネットワークでは、防災啓発に力を入れています。また、全国の学生団体との交流にも積極的に、昨年10月には『ぼうさいこくたい』と呼ばれる、日本最大級の防災イベントに参加しました。このイベントでの議論から『防災×○○』という目標を立てました。防災と他の要素をからめて、発信することで、防災のハードルを下げようとするなど、静岡で着実に防災啓発を進めていきます。

音楽の力で人と人を繋げます！ 学生団体HANDs

主な活動場所 静岡文化芸術大学
グローバル人財サポート浜松

活動日時 毎週月曜16:00～17:30
木曜14:30～16:00

メンバーの所属 静岡文化芸術大学

国際関係

教育

まちづくり

芸術



どのような活動をしていますか？

私たちは主に鍵盤ハーモニカを国内、主に静岡県内から集めて清掃・検品・梱包してフィリピン第3の都市であるダバオの小中学校に寄付しています。その際に使い方を教えるだけでなく浜松との国際交流を目的としてHANDsのメンバーが出向き、生徒との交流を行います。また活動の周知を兼ねて国際文化交流に関するイベントにも出ることがあります。今年度は初の試みとして、浜松市内にある南の星の小学校の生徒さんとダバオ市内のキャプテントーマス小学校の生徒さんとの合同演奏会をオンラインで行うため、その企画も並行して進めています。

どんな人と活動したいですか？

国際交流のための活動をしたい人

どんな団体と連携したい？

国際交流や支援に関する団体とよりよりあり方を考えて行動に移したい

代表・役員からのメッセージ

こんにちは。学生団体HANDsの木下です。現在は静岡文化芸術大学に通いながら同じ大学のメンバーたちと活動をしています。この度はHANDsの活動についてご覧いただき、ありがとうございます。私たちHANDsは上記の活動をしながら個々が活動に責任を持って取り組んでいますが、昨年度は浜松ロータリークラブさんや地元のボランティアの方にも1,000台以上の鍵盤ハーモニカ清掃の際にお手伝いいただき、普段も鍵盤ハーモニカの寄付をいただく皆さんの力を借りています。この活動は1人の力では成り立つものではなく、多くの支えがあって初めて成功するものです。今後も感謝を忘れず、日々この活動の意義に向き合いながら取り組んでいきます。ぜひ応援よろしく願っています。

団体情報

設立：2018年

所属人数：約25人

✉ handsmile.project@gmail.com

📷 @hands_smileproject

✂ @Hamamatsu_Davao

📞 hands_onlinechat

ボランティアを通して人と繋がれます！ Habit for Humanity Alicia

【主な活動場所】 静岡文化芸術大学
浜松市を中心として活動

【活動日時】 毎週木曜日 その他長期休み

【メンバーの所属】 静岡文化芸術大学

国際関係

教育

まちづくり



どのような活動をしていますか？

「誰もがきちんとした場所で暮らせる世界」の実現を目指し、住まいの問題に取り組む特定NPO法人「Habitat for Humanity Japan」の学生支部です。発展途上国での住宅建築ボランティア（Global Village）をメインとして国内外でボランティアを行っています。2023年春にカンボジア、2024年春にインドネシア、インドにて住宅建築ボランティアに参加しました。国内では、浜松市内の空き家のリノベーション、チャリティーサンタ、コーヒーフェスなどのボランティアを行っています。週一回ミーティング（Alicia Talking）を行い、コンテンツを通してそれぞれの価値観や考え方を共有しています。

どんな人と活動したいですか？

CCのある大学だけでなく、色々な大学生と活動したい。浜松市内の建築に興味がある人、経験がある人。ジャンル問わず新しいことに挑戦したい人。

どんな団体と連携したい？

ボランティアに興味がある団体、企業やすでに活動している団体と連携して活動を行いたい。
ex) ・地域のイベントと一緒に運営、清掃活動
災害支援

代表・役員からのメッセージ

Habitat for Humanity Alicia代表の西山です。私は2024年春、インドネシアでの住宅建築ボランティアに参加し、家を建てるといボランティアを通して現地の方々と心の繋がりを感じることができました。この経験を活かし、ボランティアの魅力を広く伝え、人と人との繋がりを広げたいと考えています。ぜひ私たちAliciaと一緒に活動しませんか？

団体情報

設立：2001年

所属人数：約20人



@habitat_for_humanity__alicia



面白く生きながら社会貢献を目指します！ サステナツル

■ **主な活動場所** 草薙駅周辺等
人や自然が素敵な場所

■ **活動日時** 不定期

■ **メンバーの所属** 常葉大学、静岡県立大学、静岡大学、社会人等

自然環境

まちづくり



どのような活動をしていますか？

サステナツルは“持続可能で面白い社会”の実現を目指す組織です。2024年7月に結成され、2024年11月現在は任意団体として活動しています。持続可能な社会の実現に貢献できることを基準として、面白そうなこと・仲間たちの“やってみよう！”を実現させていきます。これまでの活動は、小学生を対象とした環境教育や、サステナツル内での研修等が挙げられます。環境教育は、グリーンアドベンチャーと題して、自然の中で心が動く体験を提供するプログラムを企画しました。また、2024年9月には、若者チャレンジファンドの助成事業に採択頂きました。研修は、“持続可能な社会とは”や“人と自然、自然と自然の繋がりについて”等をテーマにサステナツル内で学びを共有・深めたり、外部の方の講演を聴講したりしました。そして、今後のアクションに向けて、ワクワクしながら準備を進めています。これからも、面白く感じることができて持続可能でもある社会を見据えて、挑戦していきます。

どんな人と活動したいですか？

社会貢献したい人、持続可能な社会に興味がある人、自然環境に興味がある人、子供が好きな人、地域活性に興味がある人、地球の未来に興味がある人、人と関わるのが好きな人、何かにチャレンジしてみたいけれど一歩が踏み出せずにいる人、退屈している人、もっと人生に刺激が欲しい人、成長したい人…etc

どんな団体と連携したい？

環境団体と協力して環境保全や環境教育をしたい
自治体と連携して環境保全を行いたい
地元の企業と協力して持続可能な社会をテーマとしたマルシェを開催したい
地元の企業と連携して 社会人向けに持続可能な社会や環境について学べる研修を実施したい
小学校と連携して小学校向けの自然体験を実施したい
中・高・大学と協力して、慈善活動や慈善団体に対する認知度を高めたい

代表・役員からのメッセージ

人と人が繋がっているように、人と自然、自然と自然も繋がっています。例えば、私たちが食べるものの多くは、花粉を運ぶ昆虫がいなくては育ちません。昆虫たちは、生まれ、育ち、子孫を残していくための環境が無ければ、いつの間にかこの世から消えてしまいます。そして、意外にも多くの環境が古くからの人の営みによって成り立っています。これは繋がりの中の一例です。繋がりのおかげに異変が生じれば、静かに伝播し、いつの間にか人も自然も滅びます。繋がりを守るために、人類の発展を何もかも捨てようとは考えていません。広く人々が理解し、小さなことからでも行動していくことで、人類も繋がりの一部として持続・発展できます。ぜひ、貴方や未来の人々がいつまでも面白く生きられるように、日常の中で持続可能な社会を見据えて行動してみてください。

団体情報

設立：2024年

所属人数：約10人

✉ <https://lin.ee/TgqNpn1>

📷 @sustainable_tedzuru

✕ —

📌 <https://www.facebook.com/profile.php?id=61566586731631>

環境に良いことしています！ 環境サークル リアカー

主な活動場所 静岡大学教室

活動日時 毎週木曜日13:00～14:30頃

メンバーの所属 静岡大学

自然環境



どのような活動をしていますか？

毎週の活動として、大学キャンパス内に設置した回収ボックスからペットボトルのキャップ、古紙の回収を行う。年に一回の活動として、12月に、知り合いの農家さんのところでみかん収穫のお手伝い、4月に、卒業生からいらなくなった家具を引き取り、新入生に手頃な価格で販売する「リサイくる市」を行う。不定期に校内や海岸でのゴミ拾いを行う。また、県内の他大学の環境系サークルが集まって活動を行う「インカレ」に参加。昨年度は、グランシップで行われた「COOL CHOICE 2023」にてブースを出展。

どんな人と活動したいですか？

環境保全活動に興味のある人

どんな団体と連携したい？

清掃活動などを行うボランティア団体

代表・役員からのメッセージ

私たち、静岡大学環境サークルリアカーは、「環境に良いことしませんか？」というモットーを掲げて、日々活動しています。ごみを分別して捨てたり、外でポイ捨てをしないなど、日常の中で少しでも環境について考えるきっかけを作るために、私たちの活動を知ってもらえたらと思います。

団体情報

設立：2004年以前

所属人数：約15人

✉ eco_rearcar@yahoo.co.jp

📷 [@rearcar.eco_shizudai](https://www.instagram.com/rearcar.eco_shizudai)

✂ [@RearcarEco](https://twitter.com/RearcarEco)

🍷 —

アットホームな団体です。

静岡大学自閉症ボランティアサークル スマイル

■ **主な活動場所** 静岡市健康文化交流館『来てこ』
静岡大学

■ **活動日時** 毎週火曜日18:00～定例会
8月半ばに3日間子どもたちとキャンプ
年に数回子どもたちと交流会

■ **メンバーの所属** 静岡大学

福祉

教育

子育て



■ どのような活動をしていますか？

スマイルでは、自閉症への理解を深める活動を行っています。障害の中でも自閉症に特化して活動を行っています。メインイベントとして、毎年夏に2泊3日で自閉症の子どもたちと一緒にキャンプをします。昨年は朝霧に一昨年は浜松市の三ヶ日に出かけました。また、年に数回、自閉症の子どもたちと交流会を行っており、公園や地域の科学館に出かけています。子どもたちにとって学校や家庭以外の第3の居場所とまではいかななくても、私たちと過ごす時間が楽しいと感じてもらえるようなものにできるために、大学生として、私たちにできることは何かを日々、模索しています。

■ どんな人と活動したいですか？

子どもが好きな大学生 自閉症を始めとした障害について理解を深めたい学生

■ どんな団体と連携したい？

福祉や障害について取り扱っているNPO法人や一般社団法人など 障害などをテーマにしている学生団体

■ 代表・役員からのメッセージ

障害や福祉などに興味のある方、ボランティアに関心のある方、誰かのために何かをしたい方、是非私たちと一緒に活動しませんか？子どもたちと関わる中で私たちにできることは何かを日々考えながら活動しています。子どもたちから学ぶことも多くあります。私たちは学生という強みを活かして、ななめの関係というものを大切にしながら子どもたちと交流しています。少しでも興味のある方、お待ちしております。

団体情報

設立：1990年

所属人数：約36人



@shizudai.smile

✕ @smail_shizudai



福祉の楽しいを広める会社 株式会社なまけもの

主な活動場所 静岡市内の福祉施設

活動日時 月に数回

メンバーの所属 静岡県立大学

福祉

教育



どのような活動をしていますか？

大学生が、福祉施設に対して楽しいイベントを提供することで地域を盛り上げています。大学生ならではの若さと柔軟な発想を活かし、季節や施設に合わせたレクリエーションを企画しています。春は花見、夏はお祭り、冬はクリスマスなど、利用者様が笑顔になれる時間を大切にしています。また、「福祉＝大変そう」というイメージを変え、楽しさを伝えることで、福祉へのハードルを下げることを目指しています。施設に伺う前にはリハーサルやペアワークを行い、初参加の学生でも安心できる雰囲気作りをします。静岡県の大学間の交流にも繋げていきたいです！12月4日に設立されたばかりの新しい会社で、今後も地域に新しい風を吹き込む活動を展開していきます！

どんな人と活動したいですか？

看護師や介護士を目指す人はもちろん、それ以外でも社会人になる前にコミュニケーションやマナーを身に付けたい学生！

どんな団体と連携したい？

大学生
福祉だけでなく人と関わることに興味のある団体

代表・役員からのメッセージ

みなさんは、歳を重ねた時、どんな風に過ごしたいですか？きっと『元気で楽しく過ごしたい！』って思いますよね。私たちも同じです！そのためには今を生きる先輩たちにも楽しんでもらわないと困ると思いませんか？自分が何歳になっても『楽しい！』と思える社会を一緒に作りましょう！

団体情報

設立：2024年

所属人数：約4人

✉ namake.shizuoka@gmail.com

📷 @namake_fukushi

✕ —

🍷 —

大学生のパワーを地域住民に分け与える！ なまけもの

福祉

■ 主な活動場所 静岡県立大学周辺

■ 活動日時

毎週月曜日8:00～／毎週水曜日18:00～
毎月第2日曜日

■ メンバーの所属 静岡県立大学

まちづくり

防災



■ どのような活動をしていますか？

常時活動は週2回の大学周辺のゴミ拾いです。また毎月第二日曜日に月一企画として、県立大以外の場所での活動を行っています。ゴミ拾いを通して地域の方々に私たちの存在を知っていただき、地域の防災訓練や敬老会だけでなく、自分たちで計画した子どもを対象とした季節のイベントや、高齢者を対象とした健康教室を行っています。また、静岡市内のイベントに呼んでいただきボランティアとして参加させていただいています。さらに、今年参加したスポゴミワールドカップ静岡予選では、男子チーム優勝、女子チーム準優勝と成績を残し、昨年に続き全国大会に出場します

■ どんな人と活動したいですか？

子ども、高齢者、障がい者

■ どんな団体と連携したい？

福祉やボランティアの活動をしている団体と連携して地域住民のみならず県内のさまざまな方々と関わりたい

■ 代表・役員からのメッセージ

私たちはこれからも様々なことに挑戦し、大学生の今しか出来ないこの経験に全力で取り組んでいきます！何かありましたらなまけものInstagramやメールにご連絡ください。また、週2回ごみ拾いをしているので少しでも興味を持って頂いた方は是非一緒にごみ拾いしましょう！

団体情報

設立：2023年

✉ namakemono.uos.2023@gmail.com

✕ —

所属人数：約30人

📷 @NAMAKEMONO_2023_

🍷 —

ーロスを救え。地球を救え。ー ロスキュー！！

■ **主な活動場所** 駿河区某アパートの一室

■ **活動日時** 不定期だが深夜帯での活動が主

■ **メンバーの所属** 静岡大学グローバル共創科学部

食



■ **どのような活動をしていますか？**

フードロスの削減、食費に余裕のない学生たちへのサポートを主軸に活動しています。食品会社から協賛いただいたロスを集め、静岡大学に通う学生たちへ届けています。多くの学生たちが身を削りながら毎日の食事をやりくりしています。その一方で、日本は膨大な量の食品をフードロスとして廃棄し続けています。この不合理な現状を、まずは半径数十メートルから解決していくための、小さな一歩として「ロスキュー！！」を立ち上げました。2024年11月Googleフォームを利用した参加型の「ロスキュー！！」デリバリーを実施しました。駿河区全体で約60人ほどの学生たちに向けたロスのデリバリーを行いました。

■ **どんな人と活動したいですか？**

フードロスに関心がある、誰かの役に立ちたい、大学生活の間に何か自分たちの手で生み出したい等、何かに情熱をもった学生なら、ぜひ一緒にしたいです。

■ **どんな団体と連携したい？**

日本全国の国立大学、私立大学で「ロスキュー！！」を開催したい。食品会社に「ロスキュー！！」へロスの協賛をお願いしたい。食品会社に限らず、防災備蓄の寄付、イベント会場の提供、配達支援など様々な企業に何かしらのサポートをお願いしたい。こども食堂、フードバンクなど各種団体と連携して何かできたら面白いと考えています。

■ **代表・役員からのメッセージ**

「ロスキュー！！」企画時にお世話になった企業家さんから「100のアイデアより1つのアクションが何よりも大切だ。」という言葉いただきました。いまこれをご覧になっている読者さんの中には「やりたいことはあるけれど、実行までの一歩が踏み出せない」といった方もいらっしゃるでしょう。でも絶対大丈夫。磨き上げたあなたの思いは必ず誰かに届きます。自分の殻を脱ぎ捨てた先の世界で、最高の発見があるはずです！

団体情報

設立：2024年

所属人数：2人



@will_2024fromsu



ロスキュー！！ インタビュー

意識高いとは思われたくない
野望はロスキューを全国へ！！！！



インタビューの紹介

(左) 田辺吾郎さん 静岡大学グローバル共創科学部1年生 (取材時)

(右) 國吉佑輔さん 静岡大学グローバル共創科学部1年生 (取材時)

入学直後に参加した起業家セミナーの場で出会う。

ロスキュー！！のミーティングは、田辺さんのアパートの一室で行われていた起案者である田辺さんを國吉さんが支えながら、二人三脚で活動を行う

きっかけは幼少期の経験から

「ロスキュー」は、静岡県内の食品メーカーから、廃棄処分予定の商品の提供を受けて、それらを静岡大学の静岡キャンパスに通う下宿中の学生、約60人に届けました。父親が料理人であったという田辺さん。田辺さんは自分が幼い頃から、提供された料理が手つかずのまま捨てられる様子を目の当たりにしていました。この経験がロスキュー！！につながります。大学入学直後に参加した起業家セミナーで、ロスキューの活動の基盤となる、食品ロス削減のための、ビジネスモデルを提案します。そして、地元企業との企画書等のやりとりを経て、約600個の廃棄予定だった商品の提供を受けるに至りました。

徹底してハードルを下げる

「食費に困っていると、手を挙げて言うのは気まずい」と田辺さんは言い、食品の受け取りまで、対面の機会をなくせるよう、配布品を希望者宅のポスト等に入れるという形式を取り入れるなど、参加者を増やすための工夫に力をいれました。「この取り組みが、良いことをしているという自負はありました」こう、2人は口を揃えます。それでも、当初は参加人数が伸び悩む状態が続きました。



しかし、Instagram上に、投稿された1本の動画が状況を好転させます。「はら減ってるんで飯くださーい、なんて直接もらいくるのはやっぱり恥ずかしくて嫌ですもんね。おいらも嫌です。」特徴的な声、「おいら」という一人称。「自分の思いを、ひろゆきメーカーに代わりに喋らせようと考えました」この投稿が功を奏し、「おしゃべりひろゆきメーカー」の投稿の後、応募数は3日で20件、全体の3分の1にあたる希望者を募ることに成功します。

意識高いとは思われたくない

大学生が作る団体は、いわゆる「意識高い系」というようにみられる節があります。実際、2人もそのように見られているだろうとは考えていたようです。「お堅い学生2人が意識高いことしてます、ではなくてみんなの目線でみんなのために行うことを伝えようと思いました」『ひろゆきメーカー』による投稿を筆頭に、SNS上の発信はユーモアにあふれています。この工夫こそが活動成功へと繋がったといえます。



(『ひろゆきメーカー』を使った投稿)

次なるロスキュー！！出現へ

ロスキューの取り組みは、2024年の活動をもって、2人での活動としては区切りをつけ、後継を探しています。「誰か熱い思いを持った人が、自分からやるぞという勢いでやってほしい」こう、田辺さんは説明します。次なるロスキューはあなたかもしれません。

ヨコスカノタメニをモットーに地域活性化活動をしています 遠州古桜會

■ 主な活動場所 掛川市南部（旧大須賀町）

■ 活動日時 不定期

■ メンバーの所属 遠州地域の社会人

伝統文化

まちづくり



どのような活動をしていますか？

遠州古桜會では、遠州地域の祭り好きが集まり、地元である大須賀地区の良さを再発見して貰えるような様々な活動をしています。古桜會の一番のイベントは、10月の第4週に行われる「ちっちゃな文化展」で、自分達で作った柵里(屋台)の展示と、お囃子の披露を行い、少しでも外部の人や大須賀町内の方々に横須賀の伝統文化や大須賀の歴史を知ってもらおうと活動しております。また、祭りへの深い興味を持ってもらうため、実際に祭りで使われる花をミニサイズにして、自分達で花を巻いて貰い、普段でも祭りでも味わえない準備を体験してもらっています。

どんな人と活動したいですか？

地域の歴史や文化に興味のある方
会の活動に賛同してくれる方

どんな団体と連携したい？

会の活動に賛同してくれる団体と地域イベント
をし地元を盛り上げたいです

代表・役員からのメッセージ

我々は1年間を通じて地域のイベントの運営に参加させていただき、大須賀地区を活性化していかうと活動しています。イベントの参加のみならず、大須賀町の歴史や祭り文化を学ぶための勉強会も不定期ではありますが、開催しています。初めはお祭り好きの高校生が始めた会ですが、今年で5周年になりました。今後も様々なことにチャレンジして行こうと思っています。 よろしくお願ひします。

団体情報

設立：2019年

所属人数：約20人



@kououkai.enshuu



遠州古桜會 インタビュー

「ヨコスカノタメニ」

祭りを残すために立ち上がった若者たちの思い

インタビューの紹介



会長
金原さん



副会長
竹内さん



会計
遠藤さん



会員
竹内さん



会員
赤堀さん

春、桜が満開に咲く頃。昔の街並みが残る城下町の中、「シタツシタツ」という掛け声や笛や太鼓の奏でお囃子、優美に装飾が施された禰里（ねり）と呼ばれる山車とともに、人々が練り歩く。

ここ、遠州横須賀では300年続く春のお祭り「三熊野神社大祭」が行われます。遠州古桜會（こうおうかい）は、祭り文化を守るために立ち上がった若者たちの団体です。

古桜會結成！

始まりは今から約五年前。当時高校生だったメンバーが自分たちで禰里を作りたいと思い、祭り好きが集まったことがきっかけ。禰里を作った当時から新しいメンバーも加わり、横須賀で開催される他のイベントのボランティア活動なども行い、地域に根強い活動を行っています。

モットーは「ヨコスカノタメニ」

「ヨコスカノタメニ」は横須賀のために何かしていきたいという思いから、古桜會会長がInstagramで使い始めたモットーです。当時、コロナで祭りが行えない中で、何か自分たちでできることがないか、そして自分たちは地元に着実に貢献していきたいと思い、横須賀のためにいろいろなことをしていくという意味を込めたそうです。

実はこの前に副会長は一度脱退していました。副会長は「ただ禰里を曳いているだけでは面白くない」と感じていたそうです。しかし、「横須賀のためになることをしたい」という思いから会長と話し合いを重ねた結果、会の方針が横須賀のためになることをするように変わり復帰することに。この時のことを二人は「とても熱かった」と語っています。

祭りの良さと思い

古桜會会長の金原さん「祭りと言えば俺の人生」「祭りのために生きている」と語り、祭りを普段会えない同級生と会える同窓会のような場であり、懐かしい人と会える場所と話します。また、副会長の竹内さんはじめ会員の皆さんは「祭りが無いなら死んでもいい」「風邪でも行きたい」熱い思いを語りました。

また、祭りが地域の方との深いつながりを生み出すきっかけにもなっています。世代を超え話ができて、祭りの話などで盛り上がることで現在のコミュニティができており、横須賀ならではの文化だと感じているようです。

祭りには生まれた時から両親に抱かれながら祭りに行っていたとのこと。幼稚園や家には小さな禰里があり、放課後に自然と集まって禰里を曳き、用事がなければ「今日禰里曳くか」と話すほど、祭りが生活に根付いていたようです。

祭りは彼らにとって単なる年中行事ではなく、生活そのもの、そしてかけがえのない仲間との絆を育む大切な文化であることが伝わってきます。

地域に向けた活動

古桜會は横須賀で開催されるイベント「カンパイビアフェスタ」「大晦日三社市」などで出店・地域貢献活動を行っています。中でも力を入れているのは「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」。ここでは地元のまちづくり団体「遠州横須賀倶楽部」と協力し自作の禰里の展示をしているほか、2024年は禰里の装飾である「花」を子供たちと一緒に作るワークショップを行いました。小さい子供を対象に行い、参加した子供たちは作った花を笑顔で持ち帰っていたそうです。親御さんからも普段はない珍しい体験で好評を得ています。小さい子供たちが祭りに触れる機会を増やし、将来の祭りで役立つ経験をしてほしいという思いのもと、祭りという文化を大切にしながら地域に貢献する活動を行っています。

これからの祭り

現在ではなくなってしまった文化もあるようで、古桜會の皆さんは昔の形に戻ってほしいという思いも話しつつ、地元を離れてしまった人でも気軽に参加できる仕組みづくりや男女関係なく祭りを楽しめる環境が必要だと話しました。

祭りを愛する若者たちの思いが、地域の未来と文化をつないでいます。まもなくつぼみが付き始める頃。彼らの愛する祭りの季節です。



祭り際の三熊野神社



古桜會の皆さんと横須賀の街並み

全国の大学生が焼津で挑戦し、街を盛り上げる！ わたしの商店街クエスト

主な活動場所 焼津駅前商店街、焼津市内

活動日時 不定期

メンバーの所属 静岡大学、慶應義塾大学、法政大学、東京都市大学、武蔵野大学、筑波大学、山梨県立大学、愛媛大学、長岡造形大学



ビジネス

まちづくり

教育

どのような活動をしていますか？

商店街を舞台に、ちいさなビジネスをつくる。「わたしの商店街クエスト」は、全国の大学生を対象としたサマープログラムです。静岡県焼津市の駅前通り商店街を舞台とし、ちいさなビジネスづくりに取り組みます。5泊6日の合宿を通じて、まちの資源や課題を掘り起こし、リサーチしたことをもとに、最終的には月3万円を稼ぎだすビジネスプランを発表してもらいます。「まちづくり」や「地域活性化」と言葉でいうのは簡単です。しかし、実際に取り組んでいくとさまざまな課題に直面します。そうした課題は、講義を聞いたり、本を読んだりしてもわかりません。実際にまちに飛び込んで、行動することで体感していくものです。「商店街クエスト」は、「商店街」というダンジョンを「クエスト（探究）」していく実践の場です。

どんな人と活動したいですか？

- ・地方創生やまちづくり、地域活性、コミュニティづくりに興味がある方
- ・学生の中に挑戦してみたい方
- ・疑似体験ではなくリアルなワークショップに参加したい方
- ・将来自分でビジネスを作ることに興味がある方
- ・焼津や焼津の商店街に行ってみたい方 など

どんな団体と連携したい？

どんな団体でも！

代表・役員からのメッセージ

何かに挑戦したい全国の大学生へ！ 5泊6日の合宿を通じて、自分と向き合い、街を知り、自分のビジネスプランを実行しませんか？ そして、活気のある全国の大学生と共に焼津の商店街を盛り上げましょう！

団体情報

設立：2024年

所属人数：約20人



@shotengaiquest



わたしの商店街クエスト インタビュー

自分の「好き」に自信が持てる。
挑戦する若者が成長できるまち、焼津



インタビューの紹介

□市原光悠さん □筑波大学2年 □千葉県出身

2023年度商店街クエストの参加者。
中学3年生の頃から曼荼羅に惹かれ、見たり、書いたりしながら研究しようと決意する
焼津の文化や魅力を表現した焼津曼荼羅を作成し、地元企業サンロフトと共同で曼荼羅のNFTを制作した。
2024年度は運営メンバーとして、焼津商店街クエストに参加。

商店街クエストに参加したきっかけ

地元の商店街を活性化させたいという思いから、まちづくりやビジネスに興味を持っていた市原さん。ボランティアには活動の限界を感じることもあり少し悩んでいた時期に、たまたま沼津市役所の方と出会う機会があり、商店街クエストを紹介してもらったそう。「他の商店街も見てみたい」と興味を持ち、このプロジェクトに参加したそうです。

地元よりも地元で、若者が成長できるまち

まず、市原さんが参加者としてこのプロジェクトに参加した際のお話を伺いました。参加当初は「焼津は魚がおいしいようなイメージ」といったイメージしかなく、ほとんどまちのことを知らない状態でした。プロジェクトを進めるに当たって焼津の方と交流していく中で、肯定的な意見を頂くだけではなく、時には厳しい指摘も受けたことがあったそうです。市原さんとしっかり向き合ってくれる人が焼津にはたくさん居て、応援してもらっている事に気がついた市原さん。「地元よりも地元って感じがして、まちからの愛を感じた」と、どんどん焼津の事が好きになっていったそうです。自由な発想を否定するわけでもなく、ただ肯定するだけでもない、そんな環境は実践に最適であり、焼津の事を「挑戦したい若者が、成長できるまち」だと教えてくれました。



みんなの公民館 まる話し合いの拠点の一つ

自分の好きに自信が持てる

市原さんは「曼荼羅が好き」ということをコンプレックスに感じていた時期もあったと言います。商店街クエストに参加した際も、「他のメンバーは美術館やK-POPなど、素敵な趣味を持っていて…」と語っており、他の人と自身との違いを少し気にしていた様子。市原さんの曼荼羅NFT化企画を進めて行くにあたり、様々な人とお話ししたり、発表したりする機会がたくさんあった様ですが、他人と違っていてもそれを個性として認めてくれて面白がってくれたことが印象的だったと言います。「自信を持って私はこれが好きだって表現して良いんだ!」と思えたことが一番嬉しかった」と笑顔で語ってくれました。



市原さんの作成した曼荼羅

プロジェクトのその後

地元に戻り、何かできればと考えていた市原さんでしたが、プロジェクトを通して「そんなに急いで、思い詰める必要がない」と焦りや悩みが薄れたそうです。自分のペースでも大丈夫だと思えると、気持ちも一気に楽になりますね。

…商店街クエストは、自分の好きなものを見つけ合い、ビジネスにも取り組むことができる。そんな素晴らしい環境をつくり出しているとわかりました。

お芝居で人々の交流を深めます！ 出張お芝居！ぷちまり

主な活動場所 浜松市内

活動日時 不定期（お芝居の依頼が来たらそれに合わせ練習）

メンバーの所属 静岡文化芸術大学

芸術

教育

子育て



どのような活動をしていますか？

小道具や衣装、台本を一切使わずに身一つでお芝居を行います。いつでもどこでも身一つで披露できるお芝居をいろんなところへ出張して届けに行っています。市内のイベント出演、子ども食堂、福祉施設などに出向いて一緒に遊んだら演じたりしています。観ている人の想像力をお借りして、お客さんも巻き込んだお芝居を作り上げています。

どんな人と活動したいですか？

お芝居で何かしたい！と思っているすべての人

どんな団体と連携したい？

地域のイベントや施設でお芝居を通して交流を図る機会をたくさん作りたい

代表・役員からのメッセージ

私たちぷちまりは、「お芝居でなんかしたい！」を原動力に集まった「お芝居×交流」企画集団！です。「お芝居をしてみたい！」「いろんな人と関わりたい！」などいろんな思いを持ってメンバーが集まっています。現在、イベントへの依頼と新しいメンバーを大募集しております！ぜひSNSのチェック&フォローお願いします！

団体情報

設立：2013年

所属人数：約10人

✉ petit.mari.mari@gmail.com

📷 @petit_mari_mari_

✕ @petit_mari_mari

📍 -

静岡県内の若者たちの活動実態調査

協力いただいた30団体に対して、活動に関するアンケートを実施しました。アンケートから見える、静岡県内の若者たちの活動の実態は・・・？

団体の幹部を務める学年は決まっていな団体が多い

団体の幹部役員を務める学年 (n=30, 単位：団体)



「特に決まっていな」と回答した団体が10団体と最多であり、続いて「2年生」と回答した団体で9団体であった。今回の掲載団体の設立年は、半数近くが2020年以降に設立された団体であったため、まだ組織として規則化されていない面がこの結果に繋がったと推測される。

代替わりの時期は団体によって様々。春休み前後に実施も。

代替わりの時期 (n=30, 単位：団体)



「特に決まっていな」と回答した団体が11団体と最多であった。また、4月(6団体)、11月(3団体)、12月(4団体)と、春休み前後を区切りに代替わりする団体が約4割だった。2020年以降に設立された団体が多いため代替わりの時期が決まっていなかったり、プロジェクトや起業といったサークルと異なる形式のため代替わりがないというケースも確認された。

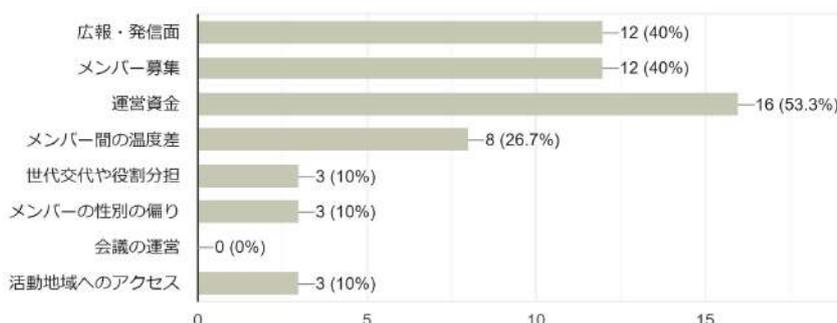
新入生、新メンバー加入にはSNSを利用

- SNSでの発信、宣伝をする
- 歓迎企画や、ボランティアとして参加者を誘う
- 大事なものは活動したい人の思い。やみくもに募集はしない。

SNSの発信に力を入れていると回答した団体が多く見られた。また、歓迎企画や主催企画の参加者を誘うといった回答もあった。

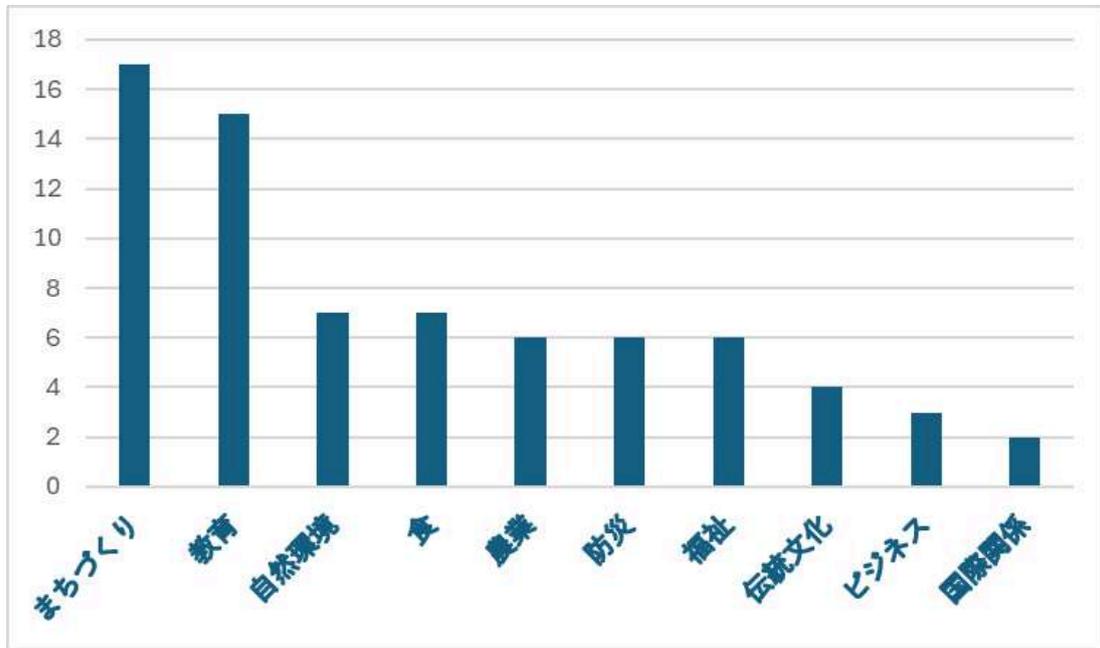
人数だけでなく、参加者の気持ちを尊重し、積極的な勧誘を行わないケースも確認された。

運営資金に課題を抱える団体が多い



半数以上が資金面での課題を抱え、約4割が広報やメンバー募集に課題を抱えていることが明らかになった。わかもの図鑑に広報面で期待を寄せる団体も多くみられた。

活動分野は、「まちづくり」が17団体と最多



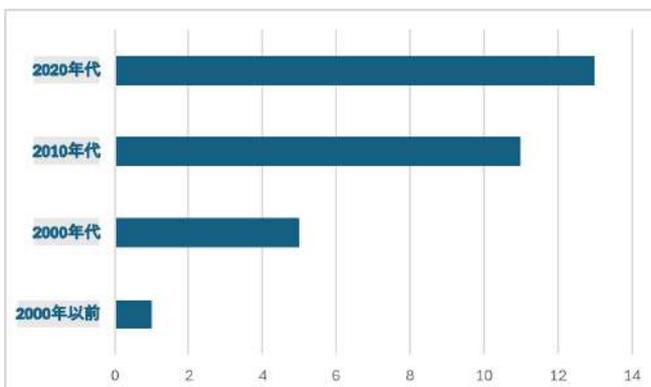
活動分野については複数回答可としていたが、「まちづくり」が最多の17団体となった。「まちづくり」は他分野との融合が多く、防災や農業などにまちづくりを掛け合わせている団体が多く存在していることが明らかになった。

使用SNSはInstagramが多数。Xとの併用も



使用しているSNSはInstagramが30団体と最多である。そのため、取材チームは掲載団体とのやり取りのほとんどをInstagramで行っていた。Xと併せて使用している団体や、一部の団体ではFacebookを活用していることも明らかになった。

団体の設立年代は、2020年代が最多



2020年以降に設立された団体が半数近い13団体であった。SDGsの普及、コロナ禍、大学による学生起業支援などが、学生団体の設立に影響を与えたと推測される。

編集後記

しぞーかわかもの図鑑のように、大学生などの若者団体をまとめた冊子は、全国でいくつか例が見られます。しぞーかわかもの図鑑の特徴は、一部の団体に対してインタビューを実施し、活動の魅力や想いを深く取り上げたことです。どの団体も熱意を持って活動されており、その背景には今回取材した方々の経験や、感じてきたこと、置かれてきた環境があるということを実感できました。お話を伺うことはとても興味深く、また、取材した方々から、「改めて自分たちの思いを言語化できた」という言葉をいただくこともありました。

たった4人の大学生が中心となってスタートしたこの企画ですが、進めていくうちに、多くの団体と繋がることができましたし、繋がりがまた新たな繋がりを生むこともありました。私たちが経験したような繋がりの連鎖を、この図鑑を手にとってくださった方々にも生まれて欲しいです。

そして、今回掲載にご協力いただいた30団体の皆様、誠にありがとうございました！！いつか、この「しぞーかわかもの図鑑を読んで来ました」という、新たなメンバーが訪れたり、団体同士の新たな交流が生まれることを願っております。

静岡県には、若者が中心となって活躍している団体がまだまだ多く存在しています。そして、これからも熱意ある若者が地域で新たな取り組みを始めましょう。このしぞーかわかもの図鑑、そして、ふじのくにNPO活動支援センターから、新たなアクションの種を蒔いていけるよう、これからも活動を続けていきます。

しぞーかわかもの図鑑を手にとっていただき、ありがとうございました！

学生編集メンバー 織田悠斗 菊地美瑚 中西俊輔 柳岡俐日人

編集メンバーより

静岡大学1年 織田悠斗

取材・編集の活動を通して、自分が今まで関わったことのなかった分野や人、団体に出会うことができ、視野を広げることが出来ました。
この図鑑を通して自分たちを含め若者のチャレンジのきっかけになればうれしいです！ありがとうございました。

静岡大学3年 菊地美瑚

何かのために頑張っている若者を探してまとめてみたい！密かに考え続けていたことが現実になりました。
たくさんの人に届き、これからの活動がより豊かになることを願っています。
ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました！！

静岡県立大学4年 中西俊輔

大学1、2年の時期の社会情勢の影響で思うようにサークル活動ができないことが心残りでした。最後にグループに参加し挑戦する機会をくださったふじのくに未来財団の皆様、団体メンバーの皆様、そして取材協力いただいた団体様に感謝申し上げます。ありがとうございました

静岡大学1年 柳岡俐日人

たまたま大学で見た、ポスターをきっかけに参加しましたが、多くの大学生に出会うことが出来て、とても刺激になりました。わかもの図鑑の製作と共に、自分自身も成長出来ました！
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

監修 天野浩史

(公益財団法人ふじのくに未来財団／NPO法人ESUNE)

静岡県内の若者たちのアクションを、少しでも「可視化」することができました。掲載した30団体の所属人数を合計すると760名以上！これほど多くの若者が静岡県内で「自分のため」だけではなく、「他者」「社会」「自然」「未来」に何かしらの想いを持って活動しているということが、尊く、そして頼もしく、嬉しい気持ちです。ここから、豊かで心地よいコラボレーションが生まれることを強く願います。
おだゆう、おみこさん、しゅんぞうさん、リヒト、素晴らしい図鑑をありがとう。



しぞーかわかもの図鑑（2025年3月発行）

企画・調査・編集・制作

織田悠斗（静岡大学情報学部1年）
菊地美瑚（静岡大学地域創造学環3年）
中西俊輔（静岡県立大学薬学部4年）
柳岡俐日人（静岡大学グローバル共創科学部1年）

監修 天野浩史（公益財団法人ふじのくに未来財団理事／NPO法人ESUNE代表理事）

発行 ふじのくにNPO活動支援センター

〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14番1号水の森ビル2階
Tel 054-260-7601 Mail fnc@shizuokafund.org

本冊子は県ホームページ「ふじのくにNPO」にも掲載しています。
https://www.npo-fujinokuni.jp/about_fujinokuninpo/